

令和2年度 学校だより



令和2年7月3日(金)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:

7月号

[onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp)

## 『自分からチャレンジ』 挑戦の花節 4回の朝礼!

梅雨空の中に時々ぞくぞく青空にすがすがしさを感じるこの頃です。

一斉休校明けの5月末から1か月が過ぎました。子供たちは、制限のある環境の中でも元気に学校生活を送っています。これも皆様のお力添えあってのことであると感謝しております。

学校では、6月30日(火)7月1日(水)の2日間、『挑戦の花節』スタートの朝礼を行いました。あいにくの雨で、両日とも体育館で行ったのですが、大きな意味を持ち成果を上げた朝礼であったと実感しています。そもそも朝礼が2日間で4回ってどういうことかと不思議に思われたのではないのでしょうか。ここに至るためには、以下の目的と計画がありました。

### 『挑戦の花節』朝礼を実施したい ⇒(1)目的を明確にする

- ① 新任式、始業式、なかよしの花節朝礼も全て動画視聴
- ② 3月から異学年が集まる機会を持てなかった
- ③ 6年生に最上級生としての自覚を持たせるとともに、その姿を下級生に見せる場が必要
- ④ ソーシャルディスタンスを例に、なぜ必要なのか、子供たちに実際に体感させながらみんなで考える機会を設定したい。そして、その目的を子供たちと共有し体験することで、新しい生活様式として、コロナ渦における様々な場で、**活用できる知識や技能**としていきたい
- ⑤ これまでの子供たちの頑張りを校長が価値づけ、次への活動意欲を高めたい

これからの社会に

求められる資質・能力

### 『実施に当たって』⇒(2)制限のある中でできる方法を考える

- ① 660人が一堂に会するのは困難
- ② 4色別ブロックで集まれば1ブロック当たり165人。この人数ならば体育館や運動場で距離をとりながら朝礼ができる⇒2日に分けて4回同じ内容での朝礼を実施
- ③ 6年生が活躍できる機会を設定するとともに1年生の様子が見えるようにする

伊藤博士登場



子供たちは、一生懸命話を聴き、ソーシャルディスタンスがなぜ必要かを学びました。この後、教室に戻り学級ごとの振り返りをしました。目的の理解と共有が、**活用できる知識や技能**を身に付けることにつながると考えます。こうして、今求められる『資質・能力』の一つを育成しています。



距離をとる



ウイルスは飛ぶよ



2mどれくらい?



6年が御T活動提案

